

平成 29年度

金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 30年4月

(2018年)

金 沢 市

(金沢市埋蔵文化財センター)

例　　言

1. 本書は、金沢市文化スポーツ局文化財保護課および金沢市埋蔵文化財センターが平成 29 年度に行った埋蔵文化財保護行政の概要、成果および結果を公表することを目的として刊行するものである。
2. 本書は、平成 29 年度に実施した埋蔵文化財の発掘調査、分布調査、および教育・普及・啓発活動に関するを中心編集したものである。
3. 本書に掲載した埋蔵文化財の遺構・遺物等の写真は、それぞれの担当者が撮影した。
4. 各遺跡の遺跡番号は石川県遺跡・文化財情報システム（平成 25 年度版）及び金沢市遺跡地図に準拠している。

目　　次

1. 埋蔵文化財発掘調査等事業	1
2. 埋蔵文化財分布調査事業	22
3. 教育・普及・啓発活動事業	32
4. 組織	43

1. 埋蔵文化財発掘調査等事業

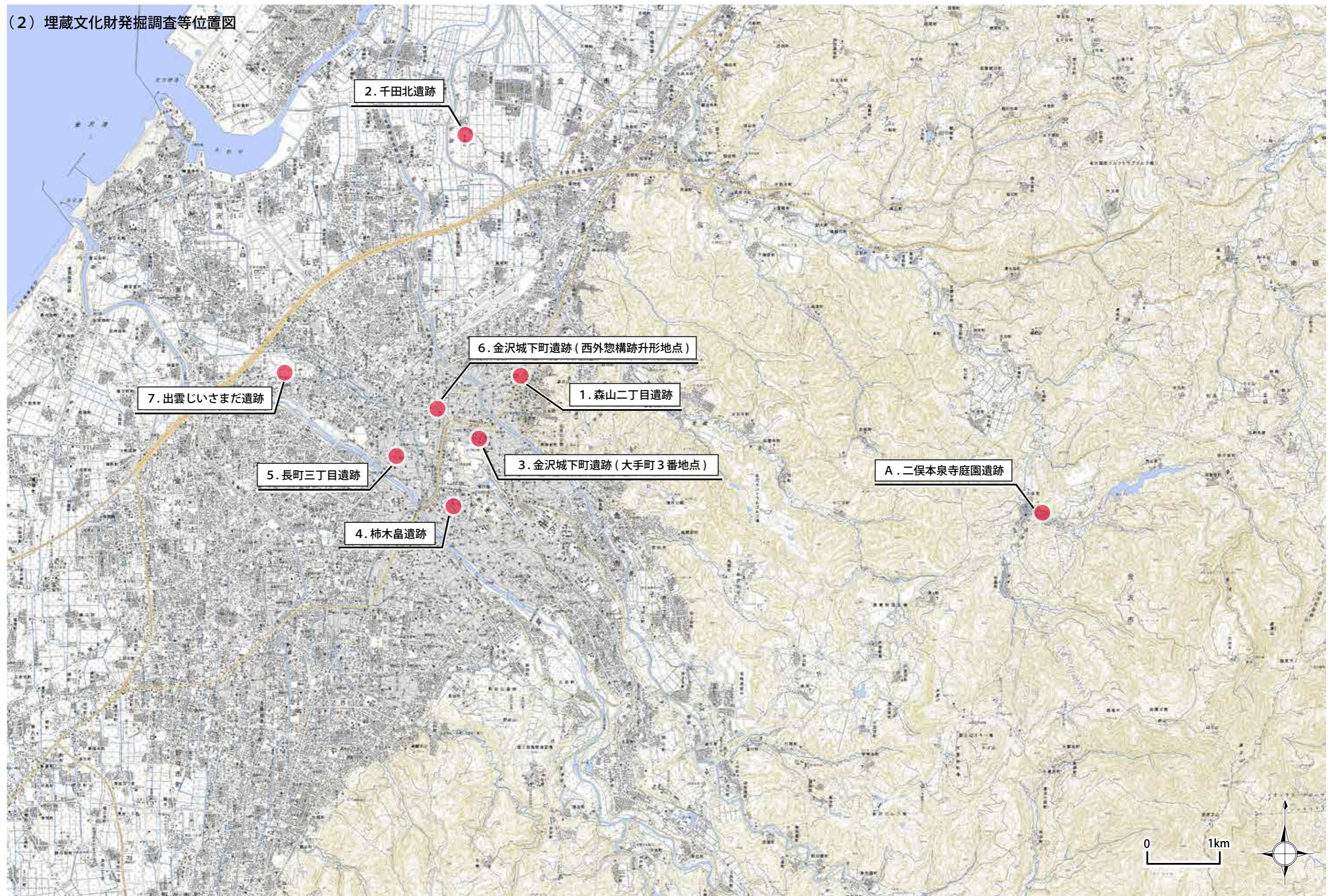
(1) 埋蔵文化財発掘調査等一覧

No.	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費（千円）	出土 遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
緊急発掘調査										
森山二丁目遺跡										
1	金沢市 森山2丁目地内	1,479m ²	学校建設 (公 共)	20170311 ～ 20171222	沖積地	64,725	150 箱	江戸	道路 溝 石積 井戸 土坑	土器 陶磁器 瓦 土製品 石製品 金属製品 木製品
千田北遺跡										
2	金沢市 千田町地内	6,223m ²	道路建設 (公 共)	20170405 ～ 20180328	沖積地	10,000	60 箱	弥生・古墳 奈良・平安 鎌倉・中世	掘立柱建物 豎穴建物 井戸 ピット 溝 土坑	土師器 須恵器 陶磁器 金属製品 木製品 漆器
金沢城下町遺跡(大手町3番地点)										
3	金沢市 大手町地内	90m ²	マンション建設 (民 間)	20170602 ～ 20170630	沖積地	2,176	10 箱	江戸	石敷き 井戸 土坑	土器 陶磁器 瓦 土製品 石製品 金属製品 漆製品
柿木畠遺跡										
4	金沢市 柿木畠地内	570m ²	庁舎建築 (公 共)	20170613 ～ 20171218	沖積地	23,939	60 箱	江戸	石積 井戸 土坑	土器 陶磁器 瓦
長町三丁目遺跡										
5	金沢市 長町三丁目地内	405m ²	交流センター 建築 (公 共)	20170731 ～ 20171012	沖積地	16,937	17 箱	江戸	土塀基礎 井戸 溝 土坑	近世陶磁器 土器 瓦 石製品 金属製品 木製品
金沢城下町遺跡(西外惣構跡升形地点)										
6	金沢市 本町一丁目地内	40m ²	史跡整備 (公 共)	20180119 ～ 20180222	沖積地	1,000	1 箱	江戸	石垣 堀	土器 陶磁器
出雲じいさまだ遺跡										
7	金沢市 戸板1丁目地内	165m ²	小学校校舎増築 (公 共)	20180224 ～ 20180325	沖積地	8,815	10 箱	古墳、江戸	溝、土坑、小穴	土師器、石製品 木製品

No.	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費（千円）	出土 遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
学術調査										
二俣本泉寺庭園遺跡【加賀一向一揆関連遺跡と古道】										
A	金沢市 二俣町地内	30m ²	学術調査 (公 共)	20171107 ～ 20171222	丘陵	1,678	1 箱	室町、江戸	園池	土師器 陶器 石製品 金属製品 木製品

※「出土遺物数」は容量 36ℓ のコンテナケースに換算した数量である。

(2) 埋蔵文化財発掘調査等位置図



1. 森山二丁目遺跡

(遺跡番号 新発見のため番号無し)

所在地：金沢市森山2丁目地内

北緯 $36^{\circ} 34' 43''$

東経 $136^{\circ} 40' 4''$

調査面積：1,479m²

種別：城下町

主な時代：江戸

担当：向井 裕知



■ 遺跡の概要

本遺跡は森山町小学校敷地内に所在する江戸時代の遺跡である。森山町小学校建替工事に伴う試掘調査で埋蔵文化財が確認され、工事に先立ち平成28～29年度に建設予定地の一部で記録保存を目的とした発掘調査を実施した。

調査区は、校舎建設箇所に該当する元校舎の中庭及びプール部分に設定した。当該地は江戸時代前期の城下絵図にはまだ描かれておらず、江戸後期の城下絵図には城下町として描かれている。足軽屋敷地に該当している。

発掘調査では、江戸時代の道路跡、溝跡、井戸跡、石敷遺構、土坑、ピット等が検出された。

道路跡は南北及び東西方向に延びるものを確認しており、幅は1.8～2.7mで路面には小砂利が敷かれ、細かい単位で土を何層にも突き固めて造られている。比較的長期に渡り使用されたと推定され、多い所で5回の造り替えを確認し、さらに上面に近代以降に改修使用された道路面が確認されている。造り替えの際には古い道路面を一部壊してから新しい道路を構築した痕跡が認められる。路面直上に、大火によると思われる焼土層が10cm以上堆積する箇所が検出されている。道路と屋敷地との境には雨水の排水用と考えられる側溝が一部認められており、古い面では素掘り、新しい面では石組みの側溝となっている。これらの側溝からは陶磁器類や銭貨などのほか、鉛製の鉄砲弾が出土している。

井戸跡には、円形に配した縦板組の井戸枠を採用しているものがあり、井戸枠は桶の転用品で、直径約0.6m、深さ約1.5mを測り、覆土中には廃絶時に投棄されたと思われる礫や瓦が多量に含まれる。

石敷き遺構は、いずれも深さ約5～25cmの落ち込みの中に拳大の河原石が広範囲に詰められている。用途については現段階では不明だが、軸方向などから屋敷地に関連する遺構の可能性が考えられる。それぞれの石敷きの下には焼土・炭化物を多く含む整地層が一部で確認されている。

そのほか土坑が全ての調査区で多数確認されており計116基を数える。土坑の大部分は性格不明であるが、トイレ遺構、廃棄土坑、植栽痕と思われるものが検出されている。

出土遺物は、遺構覆土、整地土、攪乱から出土し、総量は遺物収納箱100箱以上である。種別は、陶磁器、土器、瓦、土製品、石製品、木製品、金属製品、種子などで、最も多く出土しているのが陶磁器である。

陶磁器は肥前系のものが最も多く、18世紀後半～19世紀代のものが主体となっている。

陶磁器以外では、灯明皿、焼塩壺、土人形・ミニチュア類、土錐、硯、砥石、石臼、碁石、下駄、漆器、桶類、曲物類、箸、煙管、銭貨、鉄砲弾などが出土している。



I-1区全景（東から）



IV-1区全景（西から）



遺跡見学会の様子



遺跡見学会の様子



SK 22 遺物出土状況



SK 27 下駄出土状況



SK 14 埋桶出土状況



SE 02 井戸枠出土状況



SA 07 鉄砲弾出土状況



SA 05 石積み遺構検出状況

2. 千田北遺跡

(遺跡番号 県: 159500 市: 595)

所 在 地：金沢市千田町地内

北緯 $36^{\circ} 36' 51''$

東経 $136^{\circ} 39' 30''$

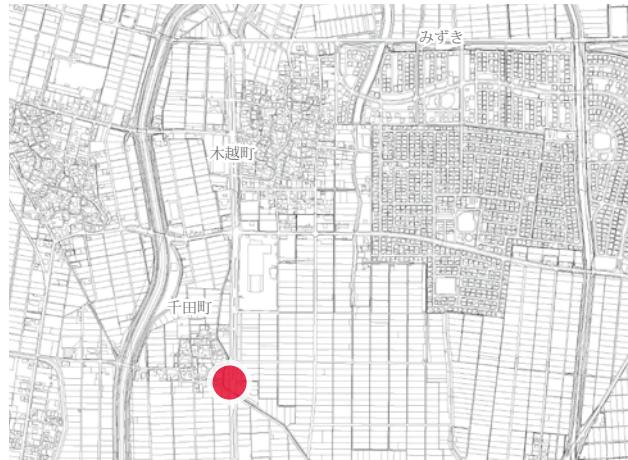
調査面積：6,223m²

種 別：集落跡

主な時代：弥生後期～古墳前期、奈良・平安、

鎌倉・室町

担 当：新出敬子・須貝杏奈



■ 遺跡の概要

金沢市では、平成 27 年度から県道木越福増線築造工事に先立ち、千田町地内で千田北遺跡の発掘調査を行っている。

千田北遺跡は金腐川に近い低湿地に位置し、地下水位も高く大変湧水の激しい場所である。平成 27 年度は、県道の西側 3,500m²を、平成 28 年度は県道の東側 1,995m²をそれぞれ調査し、弥生時代から中世までの遺構が見つかっている。

今回は、平成 28 年度の調査の北側に隣接する 1 区・2 区、県道を挟んで西側に位置する 3 区・4 区の調査を行った。

1 区では、溝や落込みなどの遺構を検出した。遺物は土師器・珠洲焼・白磁などが出土したほか、溝からは箸や下駄などの木製品が多く見つかっている。また、先が 2 つに分かれた雁又と呼ばれる鏺が、漆の柄を一部分残した状態で見つかっている。

2 区では上層で昨年度の調査で見つかった区画溝の続きを 2 条検出したほか、井戸跡を 1 基検出している。下層では土坑・ピットなどのほかに木樋や木組側溝が見つかっている。木樋は底板がなく、長さ約 3.2 m、幅 10cm の側板を横木で固定したもので、上部には蓋がついていた。木組側溝は木樋の南側で木樋に直交した形で検出され、側板の両側を杭で固定する構造となっていた。また、遺物は土師器や木製品が見つかっている。

3 区で見つかった遺構は掘立柱建物跡 11 棟、井戸跡が 1 基、土坑 29 基、溝 36 条、川跡を 2 条検出した。建物は西側に集中しており、多くは中世のものと考えられるが、東西方向に 4 間、南北方向に 4 間にわたる総柱建物跡からは、古代の白磁が出土している。また、調査区東側には中世と近代代の川跡があり、中世の川跡からは、杭列が確認されている。出土した遺物には土師器・須恵器・陶磁器・漆器・木製品がある。また、西側にある大きな土坑からは網代製品が出土した。

4 区では掘立柱建物 6 棟、竪穴住居跡 1 棟、土坑 25 基、溝 27 条が検出された。建物は東側に集中し、いずれも中世のものである。遺物は土師器、木製品などが出土している。西側半分は湧水が激しく柔らかい地盤となっており、上層と下層が検出された。上層からは弥生終末から古墳時代前期にかけての溝のほか、「倉」と書かれた墨書き土器が出土した古代の溝などが見つかっている。また、調査区北西からは柱穴や壁溝を伴う 4.5 m 四方の竪穴建物跡が検出され、古墳時代前期の土器が多数出土した。下層では南北方向の溝を中心に土坑・ピットなどを確認した。いずれも弥生終末から古墳初頭の土器が多く見つかり、中には完形に近いものもみられた。

さらに、3区から4区にかけて、東西方向 36 mにわたって杭列が2列続く。方形や円形の柱材を転用し、先端を尖らせた杭を直線的に配置するが、間隔にはばらつきがみられる。杭の掘方は確認できず、地面に直接打ち込んだものとみられる。溝の土留めの可能性があり、杭列間からは9世紀頃の須恵器が発見されている。

3区・4区に関して、本年度はまだ調査の途中段階にあり、次年度に本年度の調査区の北側を調査する予定である。次年度以降の調査と照らし合わせて検討することで、集落の範囲や変遷がよりはっきり見えてくることだろう。



雁侯（1区 西から）



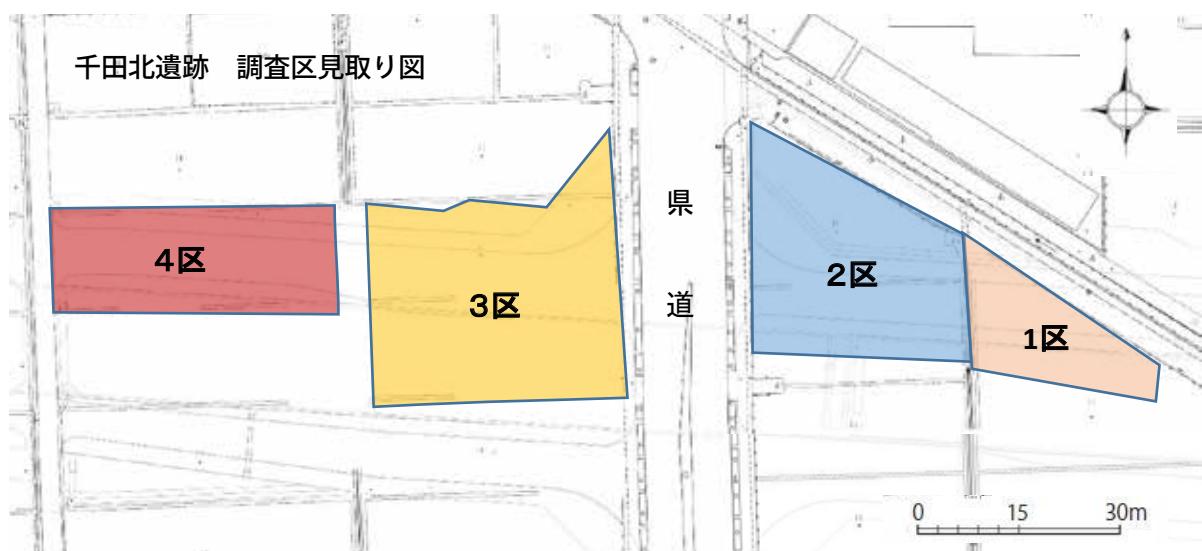
木樁（2区 北西から）



杭列（3区 東から）



豊穴住居（4区 北から）



3. 金沢城下町遺跡(大手町3番地点)

(遺跡番号 新発見のため番号無し)

所 在 地：金沢市大手町地内

北緯 36° 33' 30"

東経 136° 39' 15"

調査面積：90m²

種 別：城下町

主な時代：江戸

担 当：向井 裕知



■ 遺跡の概要

本遺跡は民間事業者によるマンション建設予定地に所在する江戸時代の遺跡である。平成28年度の試掘調査で埋蔵文化財が確認され、工事に先立ち平成29年度に建設予定地の一部で記録保存を目的とした発掘調査を実施した。

調査箇所は、金沢城の正門大手門の北側、藩政期には大手先や尾坂下などと呼ばれた一帯にある。当該地は城下町形成当初においては町地であったが、寛永12年（1635）の大火の際に、町地を惣構外に移して武家屋敷地になったといわれる。延宝期の調査地周辺は、人持組の寺西若狭や津田玄番、松平玄番などの加賀藩重臣が上屋敷を連ねた地帶で、通りを挟んだ西側には代々年寄役を務めた加賀八家の前田対馬守の屋敷がある。天保期の城下図では寺西や津田、松平の屋敷地はそのまま見え、前田美作守の屋敷地はさらに西側に広がっていることが確認できる。調査箇所は人持組一万石の大身津田玄番が屋敷を構えていた場所に該当する。

検出された遺構には建物礎石、土坑、埋甕、集石遺構、石列などがある。

遺構の時期は遺物からみると17世紀初頭に始まり、17世紀前半、17世紀後半、18世紀前半、18世紀中頃、19世紀前半となる。

津田家が当地に居住するのは寛永12年（1635）の大火直後とされており、それ以前は中町、寺町とされ町人地が展開していた。「嘉永七年由緒帳片岡孫兵衛」によると寺町に居住していた片岡家は堤町に移転させられ、津田家の屋敷地に転じたことが記されている。このことから、17世紀前半以前の遺物は伝世されるものもあるが町家期の可能性が高い。

また、18世紀前半に属するSX01・02、18世紀中頃に属するSK05は火災に伴う炭や土壁、表面が被熱した遺物が出土していることから宝暦の大火（1759年）によるものと考えられる。

発掘調査地点を古絵図（延宝金沢図）からみると屋敷地の東端部中央に位置する。津田家の屋敷絵図は残されていないが、大正時代の画家巖如春の描いた風俗画（金沢医学館）によると周囲を土塀で囲まれ、屋敷地の西半部に主屋が位置していたことがわかる。当該地点は樹木が描かれており、庭園に隣接した地点であったことがわかる。

遺物の様相から禄1万石の人持組津田家をみると陶磁器類に珍品・優品が見られないことから発掘調査地点が影響しているものと考えられる。SK01出土の灯明受皿底部外面に「寺田」と墨書きされた資料がある。これが家名を示すとすれば津田家の陪臣が調査地点周辺に居住していた可能性があろう。津田家と背割りを同じくする禄4千石の人持組松平家の絵図を見ると屋敷地内には数多くの「侍小屋」が描かれており、当武家地内にも同様の施設の存在が考えられる。



下層遺構全景



S K 0 5



石塔出土狀況



土師器皿出土狀況



越前燒甕出土狀況 (S X 0 1)

4. 柿木畠遺跡

(遺跡番号 新発見のため番号無し)

所 在 地：金沢市柿木畠地内

北緯 $36^{\circ} 33' 35''$

東経 $136^{\circ} 39' 23''$

調査面積：570m²

種 別：城下町

主な時代：江戸

担 当：庄田 知充



■ 遺跡の概要

本遺跡は藩政期の絵図では金沢城下町のエリア内にあたる。金沢市総務課の事業である金沢市第二庁舎建築計画に伴い平成28～29年度にかけて発掘調査を実施してきた。平成28年度には南西部のA区、北東部のB-1区、B-2区、北西部東側のC-1区、北西部西側のC-2区の発掘調査を実施し、曲水状遺構や石組みの井戸や地下室、廃棄土坑や火災層等を確認した。平成29年度の調査区はD区で、調査対象地全体の南西部に位置する。

本遺跡の北側には西外惣構の堀跡である水路、南側には鞍月用水が流れている。鞍月用水はもともと藩政初期までは金沢市街地の西側を流れる犀川の分流だったものを用水として整備したものといわれており、本調査地周辺の現況地形も、鞍月用水を最低標高とした帯状の窪地地形を呈している。また、西外惣構の堀は、高低差約4mの河岸段丘崖裾に築かれている。

D区においては、周辺の住宅地と比較すると近代以降約0.3～0.4mの盛土が行われていると考えられる。近代の盛土下では、深いところで江戸時代に行われた厚さ約1.8mの整地土が確認された。整地土層には、18世紀半ばに発生した宝暦の大震(1759年)火災層と考えられる焼土層も含まれる。整地層を除去した最下面は、無遺物の固結した砂礫層となっていた。D区の西側には鞍月用水が南東から北東に向かって流れている。D区の自然地形はこの鞍月用水に向かって次第に下降しており、南西部は北東部よりも礫層地山の深度が浅い。武家屋敷の敷地ごとに平坦地を造成し小段を形成しており、とくに調査区最下段の小段には石垣が築かれていた。平坦地は斜面地形の切り取りと盛り土により行われており、旧地形は鞍月用水に向かって下がっていたものと考えられる。調査区内では掘立柱建物の柱穴、建物の礎石、石組みの井戸、石組みの地下室のほか、小形の方形・円形石組み遺構、石積み列、区画溝と考えられる素掘りの溝、ゴミ穴等が確認された。とくに17世紀前半代の井戸が数多く検出されたことから、寛文期以降の絵図に見られる武家屋敷の屋敷割よりも小区画の居住単位があった可能性がある。出土品は、おもに整地土中や廃棄土坑などから見つかっており、近世陶磁器・土器、石製品等が中心となっている。

まとめ

調査地である西外惣構の南外側に沿ったエリアは、鞍月用水沿いの帶状の旧河道に沿ったエリアで、とくに調査地南側は犀川の氾濫時に容易に水につかりやすい環境にあったと考えられる。そのため、直臣の武家地ではあるが比較的小区画の屋敷地を拝領した下級武士の居住地とされていた。

寛文年間の絵図をみると調査地周辺は外惣構の外縁に沿って帶状の火除地にされていた。寛永大

火を教訓に設けられた、城下中枢部へ延焼が及ばないようにするための緩衝地帯だが、延宝金沢図をみると火除け地の範囲が縮小され、以後中・下級武士の屋敷地へと転換されていく過程がわかる。D区の発掘調査により、この土地が武家屋敷として整備される過程において、各敷地の南西面に石垣を築いて擁壁とし、埋め立てを行って平坦な敷地を造成していたことがわかる。

発掘調査では、寛文年間以降の武家地の屋敷割を示すと思われる区画溝や石列等の境界施設が検出されている。17世紀前半代の屋敷割は絵図からうかがい知ることができまいが、特にB区、D区において当該時期の井戸が多数検出されたことから、絵図に見られる時期よりも細かな屋敷割をもつ居住空間だった可能性がある。



調査地全体写真



敷地境界の石垣



堀跡基礎石積み



新旧の石組井戸



井戸埋土下層出土の肥前陶器皿

5. 長町三丁目遺跡

(遺跡番号 新発見のため番号なし)

所 在 地：金沢市長町3丁目地内

北緯 $36^{\circ} 34' 1''$

東経 $136^{\circ} 38' 44''$

調査面積：405m²

種 別：城下町

主な時代：江戸

担 当：谷口 明伸



■ 遺跡の概要

本遺跡は長土堀青少年交流センター建設予定地に所在する江戸時代の遺跡である。平成28年度の試掘調査で埋蔵文化財が確認され、工事に先立ち平成29年度に建設予定地の一部で記録保存を目的とした発掘調査を実施した。

調査区は長土堀交流館の西、中央市民体育館の北に隣接する緑地内に位置し、東方約350mには西外惣構が、南方約400mには犀川が位置する。藩政期においては金沢城下町の西端にあたり、武家屋敷が拡がる地域であった。

発掘調査では、土壙基礎跡、井戸跡、土坑等が検出されている。土壙基礎跡は近代以降の整地により上部構造が破壊され、最下段の石積みのみ残存する状況であるが、新旧2時期の基礎を確認しており、藩政期の敷地境界を示すものと見られる。井戸跡は2基検出しており、いずれも河原石を円形に組んで井戸枠としている。その他、大小の土坑を検出しており、これらの遺構から陶磁器類、灯明皿、土人形、銭貨、簪、屋根瓦などの遺物が出土している。

寛文7年(1667)の城下町絵図によると調査区は武家屋敷地の一角に位置し、調査区のほぼ中央に敷地境界があり、北側が「山村長七」、南側が「竹田監物」の屋敷地となっている。延宝期(1673~1680)の城下町絵図では北側に「山村安兵衛」、南側に「竹田源助」、嘉永元年(1848)の絵図も同様に「山村」「竹田」と記されており、藩政期初期から幕末まで山村家と竹田家の屋敷地であったことがわかる。

発掘調査区は山村家と竹田家の屋敷地に跨がる形で位置しており、検出された土壙基礎跡は両家の屋敷地の境界に構築されていたものと推測される。今後の調査資料の検討により、藩政期の金沢における武家屋敷地の構造が明らかになることが期待される。



調査区全景



調査風景



土壙基礎跡（東から）



土壙基礎跡（西から）



井戸跡（SE 02）



井戸跡（SE 03）



発掘調査区の位置（延宝期城下町絵図）

6. 金沢城下町遺跡（西外惣構跡升形地点）

(遺跡番号 新発見のため番号なし)

所 在 地：金沢市本町1丁目地内

北緯 $36^{\circ} 34' 25''$

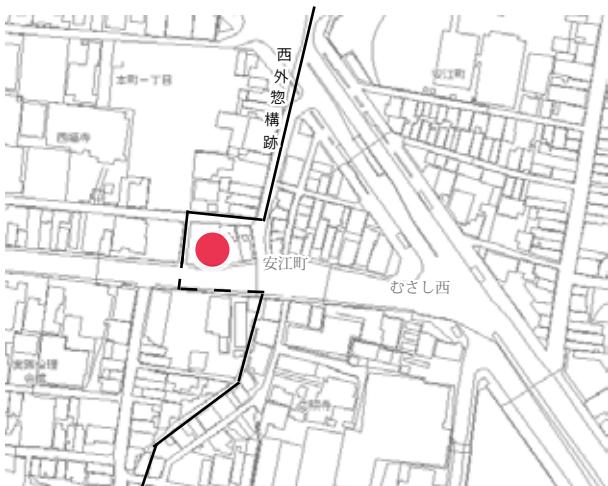
東経 $136^{\circ} 39' 11''$

調査面積：40m²

種 別：城下町

主な時代：江戸

担 当：庄田 知充



■ 遺跡の概要

本市は、金沢城惣構跡について平成17年度から学術的な調査をすすめ、平成20年12月には市史跡として指定している。升形は、港のある宮腰から来た往還道が西外惣構と交差し、城下町の出入口となっていた場所にあたり、ここには防御のため堀と土居を「コ」の字形に屈曲させることで、土居に囲まれた方形の空間を造った升形門があった。

升形地点においては、平成20年度に「T」の試掘、平成21～22年度に本調査を実施し、築造当初素掘りだった土居側堀岸が江戸期に4段階に分けて石垣の構築を伴いながら埋められ、削平された土居跡とともに宅地化されていったことが判明している。宅地部分からは掘立柱建物の柱穴、建物礎石、石組み遺構等が見つかっている。

今年度は重要な防御拠点だった升形における史跡整備にあたり、整備範囲内において不安定な状態の石垣の解体修理にともなう発掘を実施した。また、整備範囲周辺における市道部分では試掘調査を実施し、堀跡および堀外側岸部が見つかったことから、市道部分について市史跡の追加指定を行っている。

史跡整備に伴い、幕末期の石垣については遺構の露出展示及び上部積み増しが必要となったが、西側の堀における石垣の一部については、石材が前方にせり出す等、非常に不安定な状態であったため解体修理を実施した。解体修理した範囲は2箇所で、それぞれ北側を石垣A部分、南側を石垣B部分とし、解体した。解体にあたっては、石材にナンバリングを行い、解体工程の一段ごとに石垣平面の写真測量を実施した。解体した石材については寸法、重量、材質等の記録・観察を行い、石材ごとに6方向からの写真撮影を実施し、石材観察カードを作成した。

石垣A部分においては、前面の石垣を解体したところ背面から古い時期の石垣が確認された。このことにより、18世紀前半段階の升形西辺土居側の岸が直線ではなく鈍角なカーブを描いていたことが判明した。石垣B部分については、上部の前方にせり出して落下する可能性の高い石材について、解体・積み直しを行った。

整備範囲の西側及び北側に隣接する市道部分について西側で3箇所、北側で2箇所、試掘調査したところ、西側及び北側の堀跡が、築造当初は市道下まで広がっており、升形西側の堀幅は築造当初約14m、江戸末期約6m、升形北側の堀幅は築造当初約11m、江戸末期約4mだったことが明らかになった。確認された幕末期の堀外側の岸については、下部を杭と横板で土留めとした土手斜面であり、下部に横板が残存していることが確認された。また、西面の堀外側の岸は直線ではなく、平面形が凸凹していることがわかった。



築造当初・最終段階堀岸検出状況（1区）



築造当初堀岸検出状況（2区）



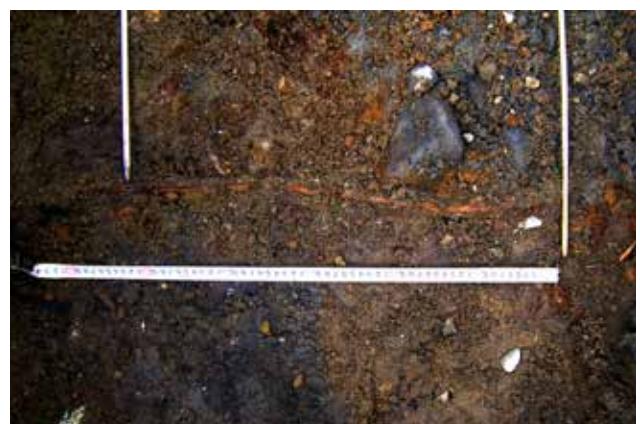
築造当初堀岸検出状況（3区）



最終段階堀岸検出状況（4区）



築造当初堀岸検出状況（5区 北側）



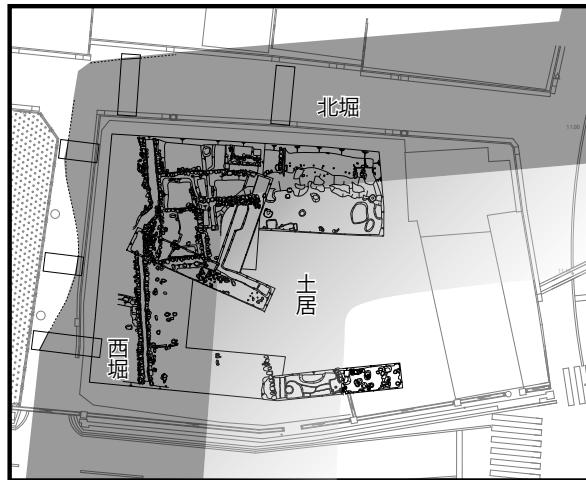
横板・杭検出状況（5区）



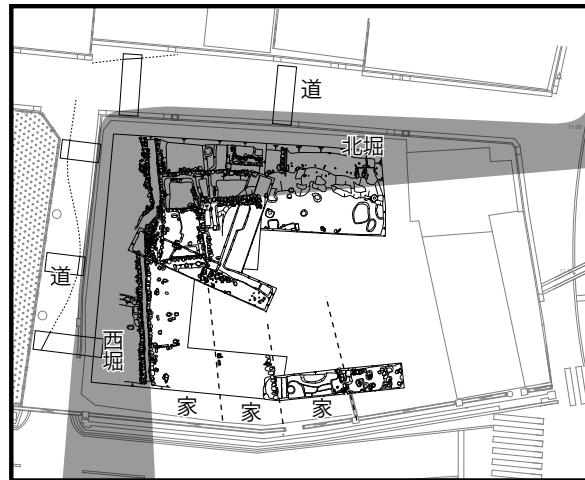
石垣A部分撤去状況と石垣5および石垣7



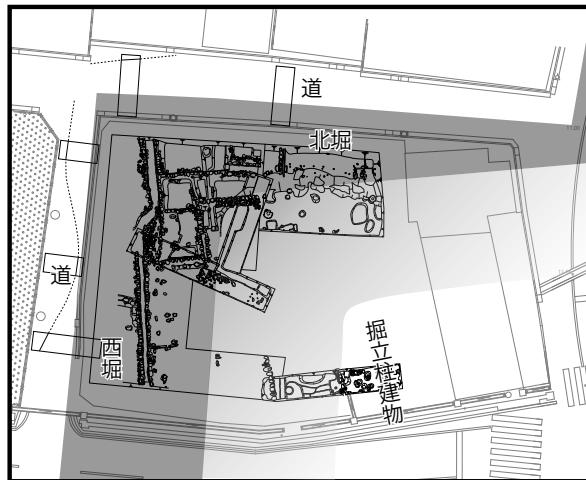
石垣4のB北部分



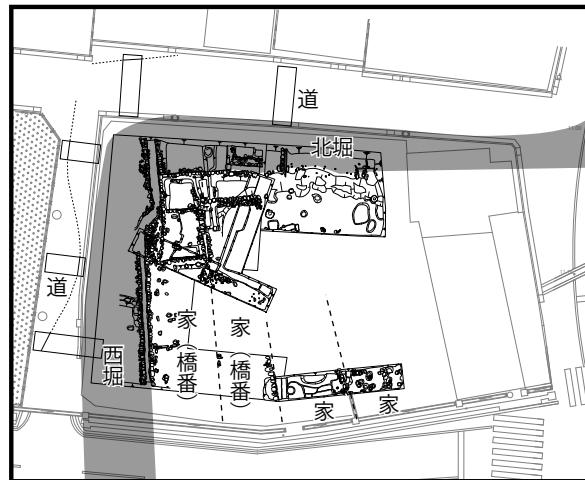
第Ⅰ期
(17世紀初め)



第V期
(18世紀前半)



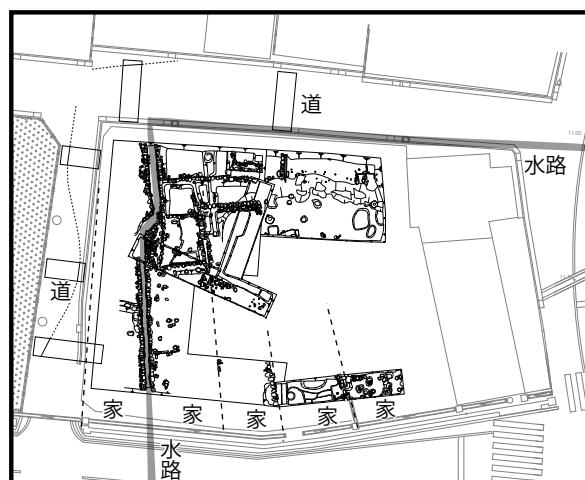
第Ⅱ～Ⅲ期
(17世紀前半～後半)



第VI期
(18世紀中頃～19世紀中頃)



第Ⅳ期
(17世紀末～18世紀初め)



第VII期
(明治時代以降)

金沢城下町遺跡(西外惣構跡升形地点) 遺構変遷図

7. 出雲じいさまだ遺跡

(遺跡番号 県: 140300 市: 403)

所 在 地：金沢市戸板 1 丁目地内

北緯 $36^{\circ} 34' 47''$

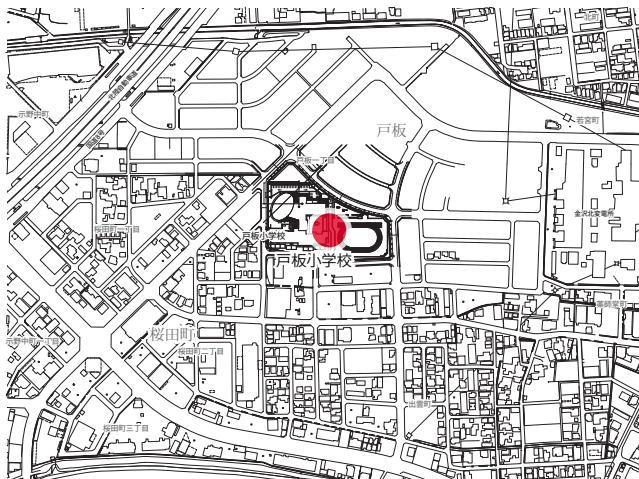
東経 $136^{\circ} 37' 21''$

調査面積： 165m^2

種 別：集落跡

主な時代：古墳時代前期・江戸時代

担 当：景山 和也

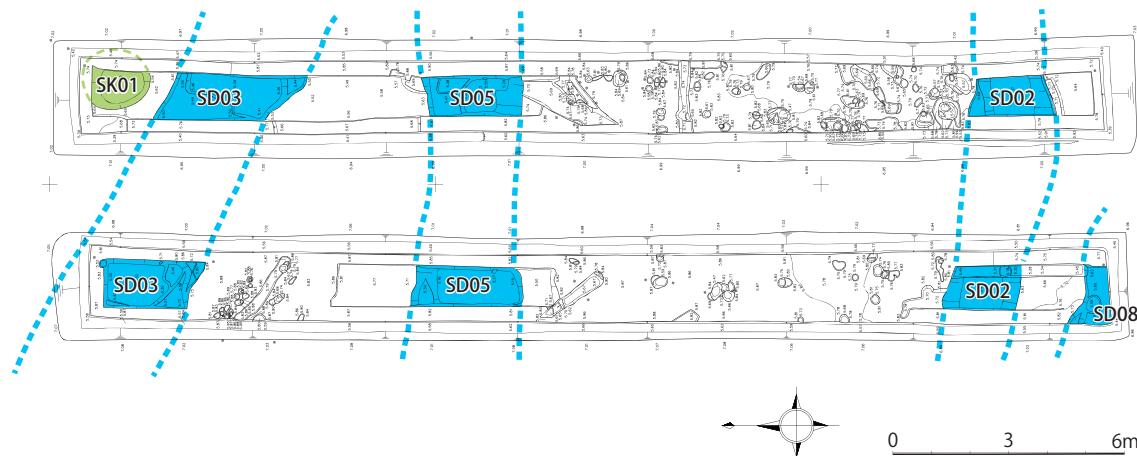


■ 遺跡の概要

平成 29 年度の出雲じいさまだ遺跡の発掘調査は、戸板小学校校舎増築工事に先立って行われたもので、平成 22 年度調査区（1 区）の東側に隣接する。校内通路とグラウンドの一部が調査区として設定されたが、既存の排水溝及び暗渠排水等により調査範囲が制限され、結果としてトレーニング 2 本による調査となった。主な遺構として溝跡、土坑、小穴があり、近世溝である SD05 を除いていずれも古墳時代前期に属する。

調査区南端で西一東を軸として検出された SD02 及び SD08 は、平成 22 年度調査区で検出されている SD1047 の延長部と考えられ、壺・甕類がまとまって出土している。調査区北端には平成 23 年度調査区検出の SD2020 延長と考えられる SD03 が北西一南東を軸として検出され、その北に断面に炭層が確認できる土坑 SK01 がある。この土坑は円形の掘方を持ち、底面からの湧水が認められ、木製品の出土もあることから、井戸であった可能性を指摘しておきたい。

調査区が狭小のためこの調査区のみで遺跡の性格を語るのは困難であるが、過年度の 7 次にわたる調査により、この遺跡は大規模な周溝を有する竪穴系建物が林立し、玉材である緑色凝灰岩片や各種玉未成品の出土などから大規模な玉つくりを行っていた集落であったことが明らかとなっている。今後、出土遺物の整理及び遺構図の検討をとおして、遺跡の性格をさらに検証していく予定である。



出雲じいさまだ遺跡遺構概略図 (S = 1/200)



東調査区全景（北から）



西調査区全景（北から）



SK 01（北から）



SD 03 土器出土状況（南東から）



SD 03 土器出土状況（南東から）

A. ふたまたほんせんじていえんいせき
二俣本泉寺庭園遺跡
かがいっこうういつきかんれんいせき こどう
【加賀一向一揆関連遺跡と古道】

(遺跡番号 新発見のため番号無し)

所在地：金沢市二俣町地内

北緯 $36^{\circ} 55' 87''$

東経 $136^{\circ} 76' 48''$

調査面積：30m²

種別：寺院・庭園跡

主な時代：室町、江戸

担当：向井 裕知



■ 遺跡の概要

(1) 二俣本泉寺の概要

二俣本泉寺は、金沢市の西部、医王山の麓に位置する真宗大谷派の寺院であり、俗に二俣坊とも呼称される。嘉吉2年（1442）、本願寺六世巧如の第三子であり、越中井波瑞泉寺の二世である如乗が二俣の地を開創し、瑞泉寺、本泉寺を兼任した。現在、二俣は山間の小村だが、当時は加賀と越中を結ぶ交通の要衝であった。本願寺五世綽如は、瑞泉寺から京都に向かう途中、この地に草庵を結んで仮の住まいとし、これが後に蓮如によって本泉寺と名付けられたと伝わる。

如乗は本願寺八世蓮如の叔父で、蓮如の本願寺8代就任にあたり大きな役割を果たしたことから、本泉寺は蓮如との繋がりが非常に深いといえる。宝徳元年（1449）から3年間、蓮如が北陸巡錫の途上で本泉寺に滞在した際に、背後の山を切り開き、寺の前にあった川の流れを付け替えたとされている。蓮如は文明年間（1469-1487）に再び本泉寺に滞在し、この時に現在本堂の背後にある九山八海の庭（県指定名勝）を作庭し、本堂前に梅の木を植えたと伝わる。この時、本泉寺が無住であったため、蓮如第二子の蓮乗を第二世とした。蓮乗は長享元年（1487）までに、本泉寺を浅野川北岸の河北郡若松（現在の金沢市若松町）の地に移転させ、蓮如第七子の蓮悟が第三世を継いだ。

加賀一向一揆においては、本泉寺は、松岡寺（能美郡波佐谷）及び光教寺（江沼郡山田）と共に加州三ヶ寺と称し、真宗勢力の中心の一つであった。しかし、享禄4年（1531）7月の享禄の錯乱（大小一揆の戦）において焼き打ちに遭い、廃絶した。

移転後に残された二俣本泉寺は、若松本泉寺の支坊・二俣坊として存続した。のちに瑞泉寺六代証心の子・心祐が入寺して、二俣坊の住持となった。なお、二俣本泉寺にも支坊があったが、その一つであった土山坊は、後に移転して勝興寺（富山県高岡市）となる。天正年間（1573-1591）には、佐々成政の兵乱にあって堂宇が焼失したとされるが、慶長8年（1603）に本泉寺の号を復し、前田家の保護も受けて再興し、現在に至る。

(2) 調査の概要

県指定名勝「二俣本泉寺九山八海の庭」の調査である。

本庭園は、昭和32年の奈良文化財研究所の調査で、等高線や配石の違いなどによって、庫裏の裏の園池（非公開）と書院裏の園池（公開・県指定名勝）は、元は同一の園池で、後世に中央部分が埋め立てられたと推定されている。

そこで、平成 28 年度に引き続き、埋め立て地推定箇所に南北方向の調査区を設定し、当初の池の規模や構造、年代等の解明を目的として実施した。

(3) 石川県指定名勝「二俣本泉寺九山八海の庭」

指定日：昭和 45 年 11 月 25 日

指定概要

蓮如は、宝徳年間（1449～1452）に二俣本泉寺に初めて訪れ、約 20 年後の文明 3 年（1471）に再訪し、その際に本園池を作庭したとされている。本堂等の北背面山麓に池を掘り、阿弥陀如来の淨土世界を象って、池中に六ヶ所の岩島を配し、自ら「九山八海」と名づけたと伝わっており、蓮如意匠の原型をとどめる数少ない庭の一つで、県下最古の中世庭園とされている。

そびえる壁岩を背後に、池泉が掘られ、池中に大きな岩石の配石、年輪を重ねた御手植の檜の巨木、陰陽一対となす御硯石と御背比石、その間にある御腰掛石など、素朴で力強い表現となっている。池泉の西岸の部分の護岸が、池の護岸の手法とあまりにも異なっていることから、池泉は庫裡の北正面にある園池まで広がっていたと考えられる。

(4) 調査の成果

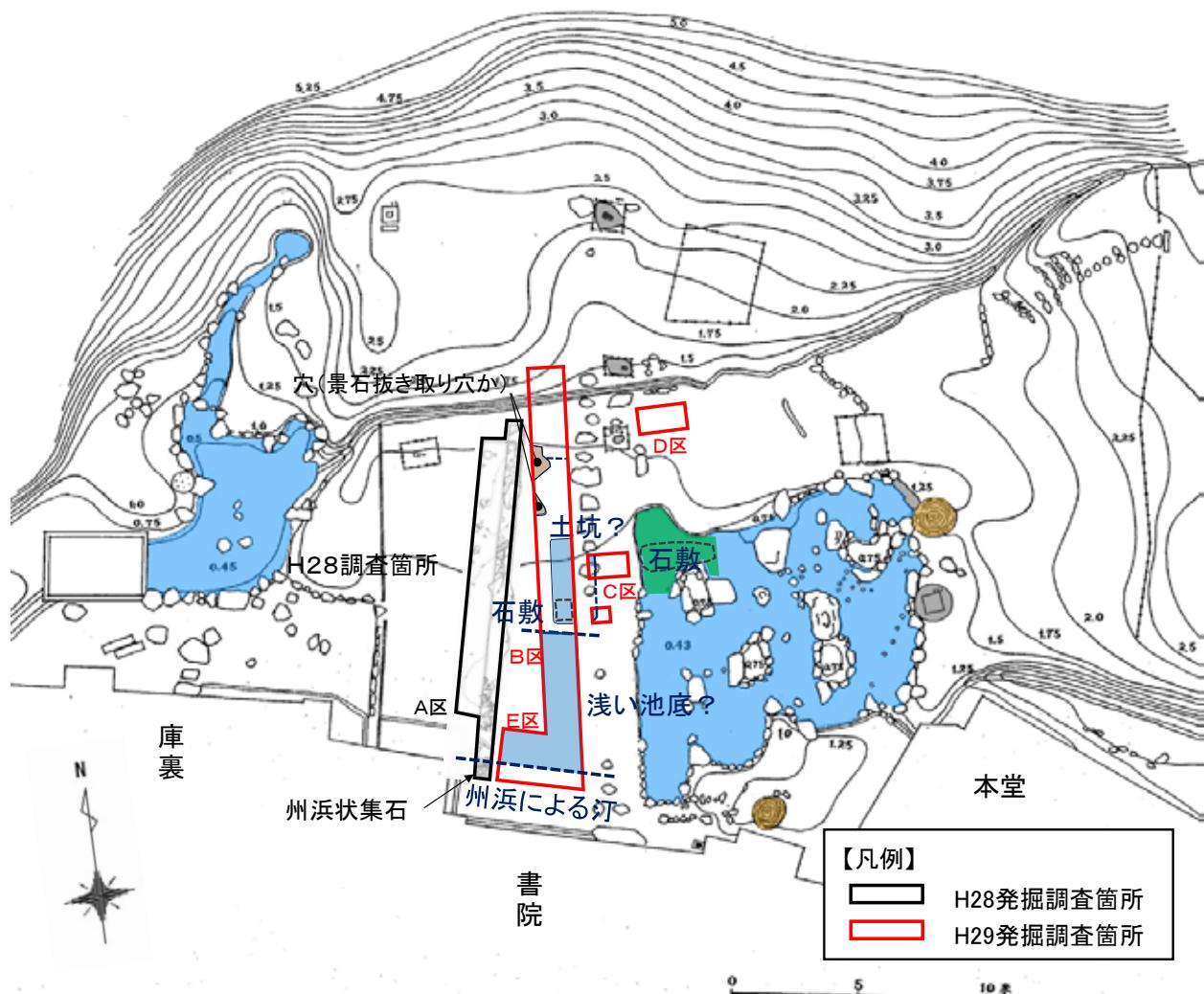
調査区中央で大型の方形土坑が検出された（B・C 区）。大型方形土坑の底には、現在の池底で部分的に確認された石敷き状の小礫及び青灰色砂と同様の礫及び土壤が確認されていることから、同時に存在した可能性が高く、当初の庭園は部分的に埋め立てられたことが推察される。

調査区南側で州浜状の遺構が検出されたことによって（A・E 区）、作庭当初は、州浜による池岸を一部採用していた可能性が高まった。

大型方形土坑が掘り込む整地土中から 16 世紀代頃の京都系土師器皿が出土したことから（B 区）、16 世紀代には作庭されていた可能性が高いが、伝承のとおり蓮如上人作庭ということであれば 15 世紀後半まで遡ることになる。

大型方形土坑の底堆積土及び埋め土から肥前陶器 I 期の陶器が出土したことから（B 区）、17 世紀前半には当初の庭園が部分的に埋め立てられた可能性が高い。

以上、作庭及び改変を行った年代の一端が出土遺物によって推定可能となった。作庭当初の園池の姿については不明な点が多いが、州浜状の池岸など部分的な構造は明らかになりつつあるといえよう。



現況



大型方形土坑の底と小礫



州浜状遺構



現池底の砂利敷き

2. 埋蔵文化財分布調査事業

(1) 平成29年度埋蔵文化財分布調査事業の概要

金沢市では、公共事業に関する土木工事や建設工事等および民間の開発行為や農地転用の際に、金沢市遺跡地図に基づき図面調査及び現地での踏査・試掘調査を実施し、開発事業着手前に埋蔵文化財の有無を確認している。

平成29年度は金沢市施工の公共事業7件、民間の開発事業・農地転用等129件について、試掘調査及び踏査を実施した。以下はその一覧である。

なお、平成23年度より、開発事業に伴う試掘確認調査については国庫及び県費補助事業にて実施しており、平成29年度の事業費は4,234千円であった。

このほか、周知の埋蔵文化財包蔵地内における工事に伴うもので、文化財保護法第93条及び第94条に基づく慎重工事及び工事立会、発掘調査での対応となったものは59件で、別表のとおりであった。

公共事業に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場所	事業名	担当課	回答日	面積	調査方法	結果	対応
1	若宮町地内	都市計画道路建設	道路建設課	9月15日	1,008m ²	試掘	無	支障なし
2	本町1丁目地内	史跡整備	歴史都市推進課	9月13日	266m ²	試掘	有	H 29年度発掘調査 工事立会 (金沢城下町遺跡)
3	山の上町、 妙園寺地内	防火水槽設置	歴史都市推進課	9月27日	470m ²	試掘	無	支障なし
4	山科1丁目 258-2、 258-4、381-1	市有地売り払い	道路建設課	10月30日	331m ²	試掘	無	支障なし (山科やなした遺跡)
5	弥生1丁目 725、 729	学校体育館建設	教育総務課	11月7日	13,400m ²	試掘	無	支障なし
6	無量寺3丁目 14	雨水幹線築造	内水整備課	11月15日	558m ²	試掘	無	支障なし (無量寺B遺跡)
7	千田、千木地内	金沢外環状道路建設	道路建設課	11月28日	7,500m ²	試掘	有	H 30年度発掘調査予定 (千木イワスクリ遺跡)

民間の開発行為に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
1	高岡町 526番・527番	住宅建設	4月4日	105.45m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
2	古府町南 599番地	住宅建設	4月4日	112.37m ²	試掘	無	支障なし (古府遺跡)
3	高岡町 110-2、110-3、111	ホテル建設	4月5日	965.61m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
4	元町2丁目 150番	店舗建設	4月6日	1,137.14m ²	試掘	無	支障なし
5	彦三町1丁目 471、473番	住宅建設	4月7日	112.58m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
6	東蚊爪町1丁目 14番、15番	工場建設	4月10日	2,890m ²	試掘	無	支障なし
7	西金沢5丁目 235ほか3筆	認定こども園建設	4月11日	1,472m ²	試掘	無	支障なし

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
8	大手町 173、174、175	店舗建設	5月2日	1,057.32m ²	試掘	有	要協議 (前田氏(長種系)屋敷跡)
9	加賀朝日町壱字41番 ほか16筆	山土採取	4月17日	13,875m ²	踏査	無	支障なし
10	大手町3丁目16	マンション建設	4月18日	363m ²	試掘	有	H29年度発掘調査 (金沢城下町遺跡)
11	香林坊2丁目188番	住宅建設	4月25日	62.08m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
12	平和町2丁目142番7	共同住宅建設	4月26日	3,992.26m ²	試掘	無	支障なし
13	戸水町カ58-2	倉庫建設	4月28日	159.5m ²	試掘	無	支障なし (戸水C遺跡、戸水遺跡)
14	古府町南620	住宅建設	5月8日	120.4m ²	試掘	無	支障なし (古府遺跡)
15	黒田2丁目175	住宅建設	5月8日	342.79m ²	試掘	無	支障なし (黒田B遺跡)
16	玉鉢3丁目1	社屋建設	5月9日	286m ²	試掘	無	支障なし (玉鉢B遺跡)
17	長坂2丁目16-16	住宅建設	5月12日	418.39m ²	試掘	無	支障なし (長坂A遺跡)
18	寺中町ホ55-11	住宅建設	5月17日	171.58m ²	試掘	無	支障なし (畠田・寺中遺跡)
19	富桜1丁目18、19、20、21	共同住宅建設	5月18日	1,584m ²	試掘	無	支障なし
20	伏見台3丁目196-1	住宅建設	5月19日	136.14m ²	試掘	無	支障なし (円光寺向田遺跡)
21	三社町274番	住宅建設	5月22日	103.33m ²	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
22	矢木2丁目64番3	住宅建設	5月22日	66.56m ²	試掘	無	支障なし (矢木ヒガシウラ遺跡)
23	元菊町185番	住宅建設	5月23日	85.22m ²	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
24	藤江南1丁目1番1	葬儀場の新築工事	5月24日	2,149.48m ²	試掘	無	支障なし
25	出雲町イ220、221、222、 223番	店舗建設	5月31日	1,704.66m ²	試掘	無	支障なし
26	長坂2丁目1232番	住宅建設	6月5日	309m ²	試掘	無	支障なし (長坂A遺跡、長坂古墳群)
27	兼六元町553番	住宅建設	6月5日	166.42m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
28	畠田西3丁目113番地	住宅建設	6月13日	179.41m ²	試掘	無	支障なし (畠田遺跡)
29	高畠1丁目178-1、178-2、 181-1ほか	住宅建設(分譲)	6月13日	1,533.28m ²	試掘	無	支障なし
30	畠田西3丁目83	住宅建設	6月15日	92.73m ²	試掘	無	支障なし (畠田遺跡)
31	松村7丁目84番13、84番 22	住宅建設	6月19日	140.1m ²	試掘	無	支障なし (松村A遺跡)
32	横山町地区土地区画整理事業 地内3街区7番	住宅建設	6月19日	251.97m ²	試掘	無	支障なし (横山氏屋敷跡)
33	東町31番地	売買	6月20日	947m ²	試掘	無	支障なし (東町遺跡)
34	新神田2丁目273、274、 275、276、277番	店舗建設	6月28日	1,233m ²	試掘	無	支障なし

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
35	尾張町2丁目361番ほか2筆	住宅建設	7月10日	139.59m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
36	尾張町1丁目173番	住宅建設	7月11日	216.78m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
37	笠舞1丁目242、243番	住宅建設	7月12日	97.71m ²	試掘	無	支障なし (笠舞A遺跡)
38	小立野3丁目419番5 ほか3筆	倉庫	7月13日	2,477.91m ²	試掘	無	支障なし
39	新保本2丁目503-1、514-1	宅地造成	7月14日	445m ²	試掘	無	支障なし (新保本町ツカダ遺跡)
40	若松町3丁目85、87番	住宅建設	7月19日	268.2m ²	試掘	無	支障なし (若松八幡社遺跡)
41	四十万3丁目318-2	分譲住宅建設	7月26日	201.29m ²	試掘	無	支障なし (三十刈遺跡)
42	出雲町イ237、238、239番	駐車場	7月26日	1,118.75m ²	試掘	無	支障なし
43	寺地1丁目5-37	集会場建設	7月27日	192m ²	試掘	有	工事立会 (寺地B遺跡)
44	円光寺2丁目236番	住宅建設	7月31日	168m ²	試掘	無	支障なし (円光寺A遺跡)
45	畠田西2丁目30番	住宅建設	8月10日	65.7m ²	試掘	無	支障なし (畠田大徳川遺跡)
46	木越町レ30番2	駐車場用地	8月10日	539m ²	試掘	無	支障なし (木越光琳寺跡)
47	上辰巳町拾字25番7	住宅建設	8月18日	164.08m ²	試掘	無	支障なし (末古窯跡群浅川支群)
48	元菊町368番1の一部ほか	共同住宅	8月22日	1,539m ²	試掘	無	支障なし
49	神田2丁目85番1	住宅建設	8月24日	91.84m ²	試掘	無	支障なし
50	東蚊爪1丁目21番地2	倉庫建設	8月24日	494.m ²	試掘	無	支障なし
51	四十万4丁目214ほか10筆	店舗建設	8月28日	3,128m ²	試掘	無	支障なし
52	藤江南2丁目18番ほか3筆	宅地造成	8月29日	1,173m ²	試掘	無	支障なし (藤江A遺跡)
53	黒田2丁目268番	住宅建設	9月4日	109.95m ²	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
54	南森本町イ1、2番	未定	9月4日	486.03m ²	試掘	有	要協議 (亀田大隈岳信館跡)
55	米泉町2丁目12番1	共同住宅	9月5日	587m ²	試掘	無	支障なし (米泉遺跡)
56	湊2丁目178番1・178番2	駐車場	9月6日	3,562m ²	試掘	無	支障なし
57	近岡町161-1	集合住宅建設	9月7日	645m ²	試掘	有	工事立会 (近岡カンタンボ遺跡)
58	本多町3丁目34番1、2	店舗建設	9月7日	49.88m ²	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
59	古府2丁目76番	貸し事務所	9月11日	1,483.25m ²	試掘	無	支障なし
60	藤江南1丁目80番	住宅建設	9月12日	64m ²	試掘	無	支障なし (藤江A遺跡)
61	高尾台1丁目358番	賃駐車場	9月12日	210m ²	試掘	無	支障なし (高尾新マトバ遺跡)

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
62	尾張町2丁目65、66	ホテル	9月13日	287.93m ²	試掘	有	H30年度発掘調査予定 (金沢城下町遺跡)
63	石引4丁目137番3、2	駐車場	9月14日	270.64m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
64	東長江町へ28-1、29-1	駐車場	9月14日	1,113m ²	試掘	無	支障なし
65	三十刈町丙148	住宅建設	9月19日	159.87m ²	試掘	無	支障なし (三十刈遺跡)
66	兼六元町163、166番	店舗建設	9月21日	106.14m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
67	近岡町237-1、238-1	工場建設	9月25日	1,131m ²	試掘	有	工事立会 (近岡A遺跡)
68	森戸1丁目194番	住宅建設	9月29日	88.65m ²	試掘	無	支障なし (森戸住宅遺跡)
69	大浦町ハ58、59-1	駐車場建設	10月5日	1,002m ²	試掘	無	支障なし
70	駅西本町6丁目201ほか4筆	事務所及び倉庫の建設	10月5日	2,116m ²	試掘	無	支障なし
71	野田町丙1番47、171	墓地造成	10月6日	1,036.39m ²	試掘	無	支障なし
72	観音堂町53、54-1	宅地造成	10月11日	1,172m ²	試掘	無	支障なし
73	近岡町地内	宅地造成	10月11日	42,512m ²	試掘	有	要協議 (近岡ナカシマ遺跡)
74	本江町530	住宅建設	10月13日	157.05m ²	試掘	無	支障なし (犀川鉄橋遺跡)
75	近岡町372番1	店舗建設	10月16日	4,208.13m ²	試掘	無	支障なし
76	安江町24-2、27-6	ホテル建設	10月19日	1,022.63m ²	試掘	有	H30年度発掘調査予定 (金沢城下町遺跡)
77	古府2丁目139、140、141、142番	店舗建設	10月30日	1,664m ²	試掘	有	要協議 (古府B遺跡)
78	尾張町1丁目25番、27番	住宅建設	11月6日	195.93m ²	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
79	西町三番丁14番4	店舗建設	11月7日	43.58m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
80	笠舞2丁目334番地	住宅建設	11月8日	231.4m ²	試掘	無	支障なし (笠舞B遺跡)
81	小立野3丁目419番2ほか	店舗建設	11月9日	2,477.91m ²	試掘	無	支障なし (辰巳用水)
82	彦三町1丁目689番	住宅建設	11月10日	82.62m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
83	下堤町22番	土地売却	11月10日	65.3m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
84	松村6丁目193番	宅地造成	11月16日	555.13m ²	試掘	無	支障なし (松村西の城遺跡)
85	兼六元町19番1ほか	有料老人ホーム建設	11月17日	1,200.14m ²	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
86	上近江町7-1,8-1,9-1	事務所、車庫	11月17日	193.84m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
87	四十万町北カ41番	住宅建設(分譲)	11月17日	955.74m ²	試掘	無	支障なし (四十万B遺跡)
88	みどり1丁目96番1、96番3	住宅建設	11月21日	224.59m ²	試掘	無	支障なし (上安原緑園地遺跡)

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
89	柳橋町ニ8番2、丁28番1	事務所建設	11月21日	10,409.85m ²	試掘	無	支障なし
90	伏見台3丁目121番	住宅建設	11月21日	227m ²	試掘	無	支障なし (寺地向田遺跡)
91	黒田2丁目44-1	未定	11月28日	169.1m ²	試掘	無	支障なし (黒田B遺跡)
92	兼六元町19番	住宅建設	11月30日	78.28m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
93	神宮寺2丁目345ほか5筆	事務所併用共同住宅	11月30日	3,489.6m ²	試掘	無	支障なし
94	寺中町ヘ28番	住宅建設	12月1日	661m ²	試掘	有	要協議 (寺中B遺跡)
95	四十万3丁目312番	住宅建設	12月5日	264.04m ²	試掘	無	支障なし (三十刈遺跡)
96	近岡町179番1	駐車場	12月5日	635m ²	試掘	無	支障なし
97	みどり1丁目98-1、98-3	住宅建設	12月6日	221.8m ²	試掘	無	支障なし (上安原緑園地遺跡)
98	浅野本町ニ104ほか5筆	長屋住宅建設	12月6日	1,030m ²	試掘	無	支障なし
99	小立野1丁目159番	住宅建設	12月7日	181.81m ²	試掘	無	支障なし (旧上野射撃場遺跡)
100	高岡町445、446番地	未定	12月7日	6,037.34m ²	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
101	近岡町137番1	住宅建設	12月13日	637m ²	試掘	無	支障なし (近岡カンタンボ遺跡)
102	神野町西337番3	住宅建設	12月13日	1,322.34m ²	試掘	無	支障なし
103	松村6丁目134番6	住宅建設	12月15日	154.3m ²	試掘	無	支障なし (松村A遺跡)
104	南森本町チ67番1ほか	住宅建設(分譲)	12月15日	1,584.44m ²	試掘	無	支障なし
105	乙丸町丙43番ほか	事務所建設	12月20日	10,810.26m ²	試掘	無	支障なし
106	大桑町ヤ5番3	住宅建設	12月25日	462m ²	試掘	無	支障なし (三小牛オンマ山遺跡)
107	彦三町1丁目197番1	住宅建設	12月25日	328m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
108	矢木2丁目80番1ほか	住宅建設	12月26日	261.91m ²	試掘	無	支障なし (矢木ヒガシウラ遺跡)
109	泉本町7丁目7番1、7番2	土地調査	1月15日	16,799.54m ²	試掘	無	支障なし
110	大手町86番3	売買	1月17日	353.74m ²	試掘	無	支障なし (前田氏(長種系)屋敷跡)
111	扇町301番	有料老人ホーム建設	1月22日	1,690.86m ²	試掘	無	支障なし
112	雀1丁目85番	宅地造成	1月22日	231.55m ²	踏査	無	支障なし (高尾城跡)
113	笠舞1丁目293、294番	住宅建設	1月26日	295.27m ²	試掘	有	慎重工事 (笠舞A遺跡)
114	上安原町407番2	住宅建設	1月30日	180.23m ²	試掘	無	支障なし (上安原カナワリ遺跡)
115	香林坊1丁目97-1	店舗建設	2月15日	541.46m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
116	西念4丁目409	共同住宅建設	2月16日	669.83m ²	試掘	無	支障なし (西念ネジタ遺跡)
117	北安江4丁目19-24	事務所、倉庫建設	2月23日	1,306.29m ²	試掘	無	支障なし
118	八日市4丁目210、211、212-1	宅地造成	2月26日	1,937.97m ²	試掘	無	支障なし
119	西町四番丁15-4	住宅建設	3月5日	80.39m ²	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
120	横山町716、717	住宅建設	3月6日	136.96m ²	試掘	無	支障なし (横山氏屋敷跡)
121	大額3-202ほか6筆	店舗建設	3月14日	1,798.77m ²	試掘	無	支障なし
122	黒田1丁目157、158、159	住宅建設	3月15日	709.88m ²	試掘	有	工事立会 (黒田町遺跡)
123	鳴和町1丁目41ほか3筆	宅地造成	3月16日	5,814.22m ²	試掘	無	支障なし
124	兼六元町415-3、416、417	住宅建設	3月19日	135.1m ²	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
125	八日市3丁目554-1	住宅建設	3月20日	229.07m ²	試掘	無	支障なし (八日市B遺跡)
126	八日市2丁目652ほか3筆	駐車場造成	3月20日	1,363m ²	試掘	無	支障なし
127	泉野町6丁目149	宅地造成	3月22日	218.97m ²	試掘	無	支障なし (泉野遺跡)
128	安江町419-3ほか1筆	住宅建設	3月26日	118.25m ²	試掘	無	支障なし (金沢城城下町遺跡)
129	上荒屋4丁目86	住宅建設	3月26日	205m ²	試掘	無	支障なし (上荒屋住宅遺跡)

(別表) 土木工事のための発掘届・発掘通知一覧

ID	届・通知の別	場所	行為の内容	届出日	取扱通知日	面積	遺跡名	対応
1	93条(届)	安江町463	個人住宅建設	4月24日	4月24日	123.1m ²	金沢城下町遺跡	工事立会
2	93条(届)	大手町33	共同住宅建設	4月24日	4月24日	367.07m ²	金沢城下町遺跡 (大手町3番地点)	発掘調査
3	93条(届)	戸坂1丁目123、124	共同住宅建設	4月27日	4月27日	405m ²	薬師堂遺跡	工事立会
4	93条(届)	南森本町ル178-1	個人住宅建設	5月9日	5月9日	142.46m ²	南森本遺跡	工事立会
5	93条(届)	南森本町ル178-2	個人住宅建設	5月9日	5月9日	148.77m ²	南森本遺跡	工事立会
6	93条(届)	兼六元町384、383	個人住宅建設	5月12日	5月12日	332.85m ²	金沢城下町遺跡	工事立会
7	93条(届)	下堤町13-2、7-4、下松原42-3	ホテル建設	5月15日	5月15日	337.8m ²	金沢城下町遺跡	工事立会
8	94条(通知)	柿木畠7、8-1、9、10	庁舎建設	5月25日	5月25日	890m ²	柿木畠遺跡	発掘調査
9	93条(届)	直江土地区画整理92街区3	個人住宅建設	6月5日	6月5日	222m ²	直江ボンノシロ遺跡	工事立会
10	93条(届)	笠舞1丁目253-1	分譲住宅建設	6月1日	6月1日	156.01m ²	笠舞A遺跡	工事立会
11	93条(届)	笠舞1丁目253-6	分譲住宅建設	6月1日	6月1日	156.01m ²	笠舞A遺跡	工事立会

ID	届・通知の別	場所	行為の内容	届出日	取扱通知日	面積	遺跡名	対応
12	93条(届)	笠舞1丁目253-7	分譲住宅建設	6月1日	6月1日	155.99m ²	笠舞A遺跡	工事立会
13	93条(届)	笠舞1丁目253-8	分譲住宅建設	6月1日	6月1日	159.08m ²	笠舞A遺跡	工事立会
14	93条(届)	直江土地区画整理65街区2-1、2-2	個人住宅建設	6月9日	6月9日	257m ²	直江西遺跡	工事立会
15	93条(届)	高岡町526、527	個人住宅建設	6月12日	6月12日	104.89m ²	金沢城下町遺跡	工事立会
16	93条(届)	寺地1丁目393-5	分譲住宅建設	6月12日	6月12日	147.86m ²	寺地B遺跡	工事立会
17	93条(届)	松村7丁目224	個人住宅建設	6月16日	6月16日	165m ²	松村A遺跡	工事立会
18	93条(届)	畠田中2丁目526-1	個人住宅建設	6月23日	6月23日	253.01m ²	畠田B遺跡	工事立会
19	94条(通知)	本町1丁目43、44、45	遺跡整備	6月23日	6月23日	605m ²	金沢城下町遺跡(升形地点)	発掘調査
20	93条(届)	金石本町口33-1	個人住宅建設	6月26日	6月26日	112.48m ²	金石本町遺跡	慎重工事
21	93条(届)	八日市出町819	個人住宅建設	6月27日	6月27日	174.01m ²	新保本町東遺跡	工事立会
22	93条(届)	笠舞1丁目247	個人住宅建設	6月27日	6月27日	148.76m ²	笠舞A遺跡	工事立会
23	93条(届)	疋田3丁目114	宅地造成	7月7日	7月7日	455.04m ²	千木ヤシキダ遺跡	工事立会
24	94条(通知)	清水町地内	道路築造	7月10日	7月10日	6,531.8m ²	新保口一カ北丁場跡	—
25	93条(届)	尾張町1丁目173	個人住宅建設	7月14日	7月14日	216.78m ²	金沢城下町遺跡(尾張町1丁目5番地点)	工事立会
26	93条(届)	尾張町2丁目361番の一部ほか	個人住宅建設	7月14日	7月14日	139.59m ²	金沢城下町遺跡(尾張町1丁目16番地点)	工事立会
27	93条(届)	大手町354番	個人住宅建設	8月4日	8月4日	88.73m ²	金沢城下町遺跡(大手町8番地点)	慎重工事
28	93条(届)	寺地1丁目60	会館建設	8月7日	8月7日	191.98m ²	寺地B遺跡	工事立会
29	93条(届)	木曳野3丁目197	個人住宅建設	8月28日	8月28日	200.53m ²	桂町南遺跡	工事立会
30	93条(届)	清水町ト11-2外2筆	管理用通路築造	8月1日	8月1日	550m ²	清水大渡北丁場跡	慎重工事
31	93条(届)	直江土地区画整理69街区10、11、16	保育園建設	9月6日	9月6日	688m ²	直江ニシヤ遺跡	工事立会
32	93条(届)	安江町15-52	認定こども園建設	9月7日	9月7日	2,940.41m ²	金沢城下町遺跡(安江町15番地点)	慎重工事
33	93条(届)	木曳野1丁目172	個人住宅建設	10月11日	10月11日	178.36m ²	畠田・寺中遺跡	工事立会
34	93条(届)	近岡町161-1	共同住宅建設	10月10日	10月10日	643.58m ²	近岡カンタンボ遺跡	工事立会
35	93条(届)	大友1丁目364	個人住宅建設	10月25日	10月25日	184.72m ²	大友G遺跡	工事立会
36	93条(届)	直江土地区画整理53街区2	個人住宅建設	10月27日	10月27日	218m ²	直江北遺跡	工事立会
37	93条(届)	近岡町237-1、238-1	工場建設	11月7日	11月7日	1,134.21m ²	近岡A遺跡	工事立会
38	93条(届)	神野2丁目52-3	個人住宅建設	11月24日	11月24日	139.9m ²	南塚B遺跡ほか	工事立会
39	93条(届)	木曳野2丁目27	個人住宅建設	11月30日	11月30日	210.68m ²	畠田・寺中遺跡	工事立会

ID	届・通知の別	場所	行為の内容	届出日	取扱通知日	面積	遺跡名	対応
40	93条(届)	新保本3丁目150、151、152-1～3	店舗建設	12月6日	12月6日	1,428.48m ²	新保本町西遺跡	工事立会
41	93条(届)	大友1丁目370	個人住宅建設	12月7日	12月7日	137.44m ²	大友G遺跡	工事立会
42	93条(届)	木曳野3丁目198	個人住宅建設	12月19日	12月19日	212.29m ²	桂町南遺跡	工事立会
43	94条(通知)	直江町ハ40-1ほか	公園造成	12月19日	12月19日	6,463m ²	直江中遺跡	工事立会
44	93条(届)	兼六元町19	個人住宅建設	12月20日	12月20日	78.28m ²	金沢城下町遺跡(兼六元町9番地点)	工事立会
45	93条(届)	木曳野1丁目145	個人住宅建設	12月25日	12月25日	226m ²	寺地B遺跡	慎重工事
46	93条(届)	福増町北1104、1105-3	個人住宅建設	1月9日	1月9日	115.75m ²	安原工業団地A遺跡	工事立会
47	93条(届)	兼六元町163、166	店舗建設	1月18日	1月18日	115.73m ²	金沢城下町遺跡(兼六元町2番地点)	工事立会
48	94条(通知)	戸板1丁目1	小学校校舎増築	1月23日	1月23日	18,466m ²	出雲じいさまだ遺跡	発掘調査
49	93条(届)	田上の里2丁目156	個人住宅建設	1月26日	1月26日	286.4m ²	田上北遺跡	慎重工事
50	93条(届)	寺地1丁目393-4	分譲住宅建設	2月5日	2月5日	165.29m ²	寺地B遺跡	工事立会
51	93条(届)	笠舞1丁目293	個人住宅建設	2月9日	2月9日	149.15m ²	笠舞A遺跡	慎重工事
52	93条(届)	笠舞1丁目294	個人住宅建設	2月9日	2月9日	146.11m ²	笠舞A遺跡	慎重工事
53	94条(通知)	長町3丁目144-1	大型建物建設	2月16日	2月16日	9,738m ²	長町三丁目遺跡	発掘調査
54	93条(届)	神野2丁目52-1	個人住宅建設	2月19日	2月19日	139.9m ²	神野遺跡、南塚遺跡、南塚B遺跡	工事立会
55	93条(届)	大友1丁目362	個人住宅建設	2月20日	2月20日	182.07m ²	大友G遺跡	慎重工事
56	93条(届)	尾張町1丁目9-9(74)	個人住宅建設	2月28日	2月28日	104.24m ²	金沢城下町遺跡(尾張町1丁目9番地点)	慎重工事
57	93条(届)	松村3丁目416、397-2	個人住宅建設	2月27日	2月27日	332.85m ²	松村高見遺跡	工事立会
58	93条(届)	兼六元町130、131	車庫増築	3月5日	3月5日	215.2m ²	金沢城下町遺跡(兼六元町3番地点)	工事立会
59	93条(届)	黒田1丁目157、158、159	個人住宅建設	3月29日	3月29日	709.88m ²	黒田町遺跡	工事立会

(2) (仮)近岡町土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査報告

近岡町生産組合より標記事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査依頼があり、平成29年10月11～13日にかけて近岡町地内において試掘確認調査を実施した。

試掘調査の結果、3地点で新たに遺跡を確認した。A地点は古墳時代前期、B地点は弥生時代中期、C地点は弥生時代後期と古代の土器を発見した。

各試掘調査地点の概略は下表に示した。番号は試掘地点を示し、次頁の図中番号と一致する。深さは遺構面もしくは地山までの深さをcm単位で示しており、地山未到達箇所は（ ）付とした。遺構、遺物のうち、未確認の場合は×とした。遺跡が確認された範囲は図中の赤塗り及び表の文字を赤字とした。



番号	深さ	遺構	遺物	備考
1	30	×		
2	25	×	×	
3	30	×	×	
4	40	×	×	
5	25	×	×	
6	35	×	×	
7	35	×	×	
8	(60)	×	×	旧河川か
9	25	×	×	
10	(50)	×	×	旧河川か
11	30	×	×	
12	30	×	×	
13	30	×	×	
14	35	×	×	
15	40	×	×	
16	25	×	×	
17	(50)	×	×	旧河川か
18	25	×	×	
19	40	×	×	
20	(60)	×	×	旧河川か
21	35	溝か	×	
22	(50)	溝か	土器	
23	55	×	×	
24	30	×	×	
25	125	×	×	旧河川か
26	50	×	×	
27	(90)	×	×	湿地か
28	(100)	×	×	湿地か
29	(50)	×	×	湿地か
30	(70)	×	×	湿地か

番号	深さ	遺構	遺物	備考
1	90	×	土器細片	湿地か
2	(55)	×	×	湿地か
3	(80)	×	×	湿地か
4	(30)	包含層か	土器多	
5	35	小穴	土器多	
6	45	土坑	土器多	
7	(25)	包含層か	土器多	弥生後期
8	40	小穴	土器多	
9	45	包含層か	土器多	
10	(110)	×	×	湿地か
11	(25)	包含層か	土器多	
12	30	小穴	×	
13	(30)	溝か	×	
14	25	×	×	
15	30	×	×	
16	35	小穴	土器	
17	30	小穴	土器	
18	25	小穴	土器	
19	(30)	包含層か	土器多	
20	55	×	×	湿地か
21	(60)	溝	土器少	
22	(90)	×	土器少	湿地か
23	(50)	×	×	湿地か
24	(85)	×	土器少	湿地か
25	35	×	×	
26	(25)	×	土器少	湿地か
27	85	×	×	湿地か
28	75	溝か	土器	
29	30	×	×	
30	30	溝か	土器	弥生中期

番号	深さ	遺構	遺物	備考
31	85	×	×	湿地か
32	(40)	包含層か	土器多	
33	(30)	包含層か	土器多	須恵器・土師器
34	(55)	×	土器少	湿地か
35	30	×	×	
36	35	×	×	
37	35	×	×	
38	30	×	×	
39	25	×	×	
40	25	×	×	

番号	深さ	遺構	遺物	備考
1	25	×	×	
2	30	×	×	
3	40	×	×	
4	(95)	×	×	湿地か
5	30	×	×	
6	60	×	×	
7	35	×	×	
8	35	×	×	
9	30	×	×	
10	35	×	×	
11	85	×	×	湿地か
12	(80)	×	×	湿地か
13	35	×	×	

(3) 小坂25号千田町線10号道路新設工事に伴う埋蔵文化財試掘確認調査報告

金沢市都市整備局道路建設課より標記事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査依頼があり、平成29年11月27・28日にかけて千田及び千木町地内において試掘確認調査を実施した。

試掘調査の結果、千田北遺跡の南で、新たに古墳時代前期の土器が出土する遺跡を確認した。

各試掘調査地点の概略は次頁の表に示した。番号は試掘地点を示し、次頁の図中番号と一致する。深さは遺構面もしくは地山までの深さをcm単位で示しており、地山未到達箇所は()付とした。遺構、遺物のうち、未確認の場合は×とした。遺跡が確認された範囲は図中の赤塗り及び表の文字を赤字とした。

1区



1区

番号	深さ	遺構	遺物	備考
1	(70)	×		
2	105	×	×	
3	125	×	×	
4	(45)	×	×	
5	(100)	×	×	
6	95	×	×	
7	80	落ち込みか	土器片少	
8	145	落ち込みか	土器片	
9	150	落ち込みか	土器片	
10	140	×	×	
11	(115)	×	×	
12	120	落ち込みか	×	
13	120	×	×	

2区



2区

番号	深さ	遺構	遺物	備考
1	120	×	×	
2	120	×	×	
3	160	×	×	
4	120	×	×	
5	150	×	×	
6	(170)	×	×	
7	150	×	×	
8	150	×	×	
9	130	×	×	
10	120	×	×	
11	140	×	×	
12	135	×	×	

3. 教育・普及・啓発活動事業

(1) 金沢縄文ワールド

概要

金沢市いなほ1丁目に所在する中屋サワ遺跡は、縄文時代晩期を主体とした多量かつ多様な土器や漆塗製品を含む木製品、石製品などが出土した遺跡である。特に漆塗製品は遺存状態が良好なものが多く、編みカゴを漆で塗り固めた籃胎漆器、漆塗りの装飾弓、腕輪、豊饒など、多彩な遺物が出土しており、当時の漆工技術の実態がよく示されている。縄文土器には北陸地方の縄文時代晩期の形式をよく示すだけでなく他地域の影響が見られるものも含まれている。これらは北陸地方における縄文時代晩期の文化と生活様式を良く示しているとして、平成26年8月21日に重要文化財に指定された。

チカモリ遺跡は金沢市新保本5丁目に所在し、昭和50年代の発掘調査で環状木柱列と呼ばれる半裁したクリ材を円形に立て並べた建造物が確認されたほか、計349点にも及ぶ木柱根が出土している。遺跡は中心部がチカモリ遺跡公園として整備され、昭和62年2月23日に国史跡に指定されたほか、出土した木柱根のうち57点が石川県指定文化財に指定されている。

金沢市では、これら縄文時代晩期の貴重な資料を適切に保管するとともに広く一般に展示・公開する施設として、金沢市埋蔵文化財センター内に「金沢縄文ワールド」を設置した。館内には常設展示コーナーと企画展示コーナーを設け、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」を主体に様々な視点から金沢市内の縄文時代を紹介する展示を行っているほか、2階には勾玉作りや縄文かご作りなどの各種古代体験に挑戦できる縄文体験コーナーを併設している。また、重要文化財指定物件を保管する特別収蔵庫を併設し、貴重な考古資料の保存継承を図っている。

所在地 石川県金沢市上安原南60番地 金沢市埋蔵文化財センター内

開館時間 9時30分から17時00分まで（入館は16時30分まで）

休館日 月曜日、年末年始（12/29～1/3）

※月曜日が祝日の場合は開館し、その次の平日に休館

入館料 無料

入館者数 平成27年度 1,111人（平成27年11月8日～平成28年3月31日）

平成28年度 3,102人（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

平成29年度 3,209人（平成29年4月1日～平成30年3月31日）



常設展示

金沢縄文ワールドにおいて重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」及び国史跡「チカモリ遺跡」出土品を常設展示するにあたり、貴重な考古資料を適切に保存管理しつつ、その魅力を広く公開するという基本理念のもと、以下のコンセプトによる展示を行っている。

1. 中屋サワ遺跡やチカモリ遺跡の出土品の特色及び独自性を演出する展示
2. 若年層から高齢者まで、幅広いニーズに対応できる演出
3. 「触れて、楽しみ、学ぶ」ことができる体験型展示手法の採用
4. 各種分析や実験考古学など最新の研究成果を反映した展示

これにメンテナンス性や環境への配慮を加えた結果、常設展示では「巨木の文化」「漆と装飾」の2大テーマに基づいた展示・解説を企画したほか、タッチパネルを操作して金沢市内の縄文遺跡や発掘調査の流れなどが検索できる「縄文の考古楽」コーナー、ゲームを通して縄文時代の石斧や弓の使い方を体験できる「実験考古学」コーナーを併設した。

■巨木の文化

展示室中央にシンボル展示としてチカモリ遺跡の環状木柱列を室内復元し、大型スクリーンの映像とともに往時の環境を再現している。また、中屋サワ遺跡から出土した豊富な木製品を展示し、縄文時代晩期の優れた木工技術を紹介している。



シンボル展示



常設展示「巨木の文化」

■漆と装飾

中屋サワ遺跡から出土した漆塗木製品や縄文土器を展示し、その高い技術と独自のデザイン性を通して、縄文時代晩期の金沢に住んだ人々が持っていたワザと美意識を紹介している。特に漆塗木製品は籃胎漆器や木胎漆器、弓、櫛、腕輪など多岐に渡る第一級の資料を展示しており、当該時期の金沢における優れた漆芸文化の一端を垣間見ることができる。



「縄文の考古学」コーナー



常設展示「漆と装飾」

企画展示

企画展示コーナーでは、常設展示とは別に、毎回異なるテーマに基づいた展示を行い、金沢を中心とした北陸地方の遺跡と出土遺物を紹介している。平成 29 年度は計 4 回の企画展を開催した。

企画展「縄文時代はどんな時代？」

会期 平成 29 年 7 月 19 日～平成 29 年 9 月 24 日

概要 縄文時代は今から約 12,000 年前に始まり、約 2,700 年前に終焉を迎える、日本の歴史上最も長く続いた時代である。当時の人々の生活は現代社会とは大きく異なる点が多い。特に縄文土器は独特の「縄目文様」以外にも器形や装飾など、各期を象徴する特徴を数多く見出すことができる。その他、石器や木製品などにも多種多様な遺物を見る能够である。本企画展では、「縄文時代とはどのような時代だったのか」に焦点をあて、縄文時代そのものの魅力を伝える展示を行った。加えて、開催期間が夏休み期間に該当することから、次代を担う小中学生を中心対象とし、地域の歴史に対する興味を持つ機会を提供することを主眼とした展示を行っている。また、「夏休み自由研究おうえんシート」を無料配布し、「金沢の縄文時代」を自由研究のテーマにできるような企画を実施している。

展示資料 笠舞遺跡：深鉢、壺形土器、注口土器、吊手土器、有孔鍔付土器
三角壇形土製品、四角壇形土製品

東市瀬遺跡：深鉢、浅鉢、壺形土器

北塚遺跡：浅鉢

企画展「石川中央都市圏考古資料展－史跡出土・指定文化財編－」

会期 平成 29 年 9 月 26 日～平成 29 年 12 月 17 日

概要 金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町の 4 市 2 町で構成される石川中央都市圏には、日本海に面した海岸線や靈峰白山を始めとする山麓、手取川や河北潟に代表される河川湖沼などの豊かな自然を背景として、縄文時代から近世まで、数多くの遺跡が立地している。本企画展は石川中央都市圏が連携して開催する初めての考古資料展で、各市町を代表する遺跡から出土した優品を厳選して公開し

した。展示資料からは、山麓から平野部を通り砂丘まで、多様な環境の中で営まれた集落や古墳、寺院、役所など、各時代の人々が残した生活の様子を垣間見ることができる。

- 展示資料 縄文時代 ○把手付壺 白山上野遺跡出土（白山市）
○人体装飾筒型土製品 上山田貝塚出土（かほく市）
弥生時代 ○楯形木製品 西念・南新保遺跡出土（金沢市）
○有透装飾器台 竹松遺跡出土（白山市）
古墳時代 壺・高杯 宇氣塚越1号墳出土（かほく市）
○把手付壺 大根布砂丘遺跡出土（内灘町）
平安時代 ○木製祭司具 上荒屋遺跡出土（金沢市）
人面墨書き土器 加茂遺跡出土（津幡町）
墨書き土器 加茂遺跡出土（津幡町）
軒丸瓦・軒平瓦 加茂遺跡出土（津幡町）
和同開珎銀錢（複製） 末松廃寺跡出土（野々市市）
軒丸瓦・平瓦・丸瓦 末松廃寺跡出土（野々市市）
◎：県指定文化財 ○：市町指定文化財

企画展「木を使う－弥生～古墳時代の木製品－」

- 会期 平成29年12月19日～平成30年3月18日
概要 南北に長く標高差の大きい日本列島では多様な植物が生育し、そこに住む日本人は太古より「木」を日常的に利用してきた。縄文時代から現代に至るまで、木は日本人の生業に欠くことのできない重要な材料であり、我が国の歴史と文化の形成に大きな役割を果たしてきた。本企画展では、金沢市内の遺跡から出土した弥生時代から古墳時代にかけての木製品を展示し、いにしえの金沢に生きた人々が「木」とどのように関わってきたのかを紹介。展示は「耕す」「狩る」「容れる」「奏でる」「祀る」の5テーマに沿った遺物を出品し、それぞれの用途とそこに含まれる時代背景を解説するとともに、木製品を「作る」道具を併せて展示している。

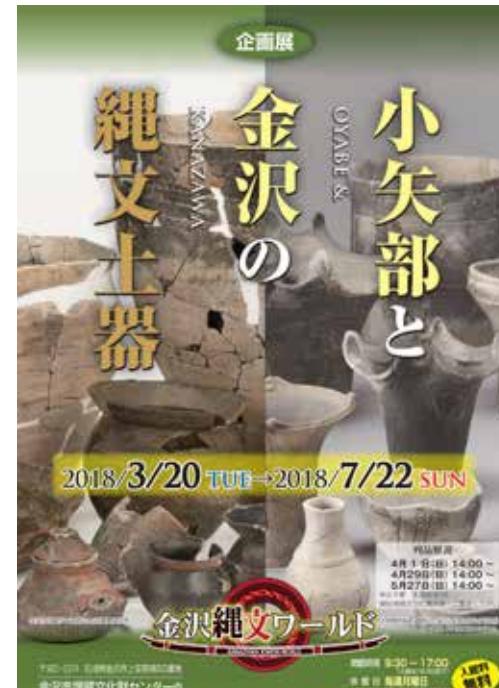
- 展示資料 「耕す」 平鋤、又鋤、横鋤、鋤、豎杵、ねずみ返し
「狩る」 弓、石鏃、網枠
「容れる」 槽、手桶、桶形木製品、蓋形木製品
「奏でる」 琴
「祀る」 舟形、戈状木製品、団扇、豎櫛
「作る」 太型蛤刃石斧、扁平片刃石斧、鉄斧

企画展「小矢部と金沢の縄文土器」

- 会期 平成30年3月20日～平成30年7月22日
概要 金沢市と小矢部市は東西でその市境を接し、その交流は現在も盛んに行われている。国史跡「加越国境城跡群及び道」が金沢市と小矢部市をまたがって指定されるなど、歴史、文化財の面からも古くからの人々の交流があったことが知られている。本企画展では小矢部市と金沢市の縄文遺跡から出土した縄文土器を展示し、その類似点

や差違点を比較することで、両市の関わりが縄文時代にまで遡ること、縄文土器を比較することでそれがわかること、などを紹介している。

展示資料	小矢部市 桜町遺跡	深鉢、壺形土器、吊手土器 磨製石斧形土製品、指輪状石製品
	金沢市 笠舞遺跡	深鉢、壺形土器、吊手土器、磨製石斧形土製品
	北塚遺跡	深鉢、指輪状石製品
	東市瀬遺跡	深鉢
	チカモリ遺跡	深鉢



各企画展チラシ

縄文体験コーナー

金沢縄文ワールドの開設に併せ、金沢市埋蔵文化財センターの2階に「縄文体験コーナー」を併設し、様々な縄文体験を無料で実施している。同コーナーの体験メニューはいつでも体験できる通年メニューと、毎月内容が変わる期間限定メニューの2種類がある。いずれも縄文時代の文化や生業を追体験できる内容となっており、当館の体験型展示コンセプトの一翼を担っている。

通年メニュー

土器パズル 勾玉作り 古代衣装試着 拓本作り
ペーパークラフト ぬりえ

期間限定メニュー

縄文かご・コースター作り 土偶作り 土笛作り くみひも作り
うでわ作り はたおり

※期間限定メニューの開催時期はホームページ等でご確認いただきたい。

※ペーパークラフトは金沢縄文ワールドのホームページでダウンロードできる。

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11104/bunkazaimain/maizou/15.html>

利用実績 平成27年度 449人（平成27年11月8日～平成28年3月31日）
平成28年度 1,919人（平成28年4月1日～平成29年3月31日）
平成29年度 2,140人（平成29年4月1日～平成30年3月31日）



縄文文化体験コーナー（縄文かご作り）



土器パズル



くみひも作り



はたおり



勾玉作り

金沢縄文ワールド見学バス助成制度

金沢縄文ワールドでは、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」等の展示を通して本市の縄文遺跡の魅力を紹介している。また、併設する縄文体験コーナーでは、勾玉作りなど様々な縄文文化を無料で体験することができる。当館では、金沢縄文ワールドを初めとした本市及び近郊の縄文遺跡の見学・体験を希望する小学校や関連団体に対し、往復のバス使用料を助成する制度を実施しており、歴史学習や校外活動に活用されている。見学コースは下記の4コースを設定しており、申込団体が希望するコースを選択できる。見学バス助成は予算上 10 団体程度を募集しているが、助成に依らない団体見学は隨時受け入れている。

①展示見学コース　—金沢縄文ワールドの展示と館内の見学—

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、館内設備見学）

所要時間 約 40 分

②縄文文化体験コース　—金沢縄文ワールド展示見学と縄文体験—

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、縄文体験（勾玉作り等））

所要時間 約 90 分

③縄文文化探訪コース　—金沢縄文ワールド展示見学と近郊の縄文遺跡めぐり—

行 程 金沢縄文ワールド、御経塚遺跡公園、チカモリ遺跡公園

所要時間 約 120 分

④古代の里探訪コース　—金沢縄文ワールド展示見学とふるさとの国史跡めぐり—

行 程 金沢縄文ワールド、上荒屋史跡公園、東大寺領横江荘遺跡荘家跡、

御経塚遺跡公園、チカモリ遺跡公園

所要時間 約 120 分

利用実績 平成 27 年度 5 団体 168 人

平成 28 年度 7 団体 288 人

平成 29 年度 9 団体 423 人



金沢縄文ワールド展示見学



縄文体験（勾玉作り）

(2) 歴史ふれあい講座

当センターでは平成 12 年度より、職員が市内の小学校へ出向き、郷土の歴史と埋蔵文化財について小学校 6 年生に講義を行う「歴史ふれあい講座」を行っている。

講座では、貫頭衣の試着、石を使ってのくるみ割り、縄文から古墳時代の遺物見学、最後に火起こしまたは勾玉作りを体験する。また、現在の生活と文化財との接点を意識してもらえるよう、各小学校の校区内に所在する文化財や埋蔵文化財包蔵地を記した「文化財マップ」を配布し、校区内の遺跡から発掘された出土品を展示している。この内容で、1 講座 100 分を所要する。

平成 22 年度からは、金沢市文化財ボランティア「うめばちの会」の協力のもと、公私協働で講座を実施している。今年度は 4 月 14 日の三谷小学校から 5 月 31 日の緑小学校まで、計 24 校で 51 講座を開催した。うち、火起こしコースは 18 校 34 講座、勾玉作りコースは 6 校 17 講座を開催している。参加児童数は 1,604 名で、平成 12 年度からの累計は 31,203 名となった。

《過去 5 年間の事業実績》

実施年度	学校数	講座数	児童数
平成 25 年度	32	65	2,229
平成 26 年度	31	67	2,167
平成 27 年度	31	63	2,122
平成 28 年度	29	60	2,144
平成 29 年度	24	51	1,604



講義風景



遺物見学

(3) 金沢こども歴史探検隊

当センターでは平成 15 年度より、将来を担う子どもたちを対象に、さらなる歴史体感の場として、市内の史跡・建造物など、実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動「金沢こども歴史探検隊」を実施している。これは、ふるさとの歴史をより理解し、地域と協働して貴重な歴史文化遺産を護ってゆく

「金沢型の文化財保存活動」を実現する環境の形成を図ることが目的である。

今回は、第 17 回目として「金沢こども歴史探検隊 in 松根城」を開催した。平成 27 年 10 月に国史跡となった「加越国境城跡群及び道」の松根城かえつぐにざかいしろあとぐんまつねじょうを会場とし、松根城のクイズラリーと史跡見学を行った。親子 6 組、18 名が参加した。探検中は専門職員が史跡の解説し、こども達へのクイズ出題は金沢文化財ボランティアうめばちの会会員が行った。

第 17 回 「金沢こども探検隊 in 松根城」

開催日：平成 29 年 10 月 9 日（月祝）

内容：松根城でのクイズラリーと史跡見学

参加者：親子 6 組、18 名

«過去 5 回の事業実績»

実施年度	回数	タイトル
平成 26 年度	13	「加賀藩主前田家墓所探検」Vol.2
平成 27 年度	14	「縄文人のくらしを探れ！」
平成 28 年度	15	縄文土器写生大会 コラボ縄文ワールド開設 1 周年記念
	16	「集え！未来の考古学者たち！」
平成 29 年度	17	「金沢こども探検隊 in 松根城」



クイズラリーの様子



クイズの答え合わせと解説

(4) 市民ふるさと歴史研究会「動物の骨は語る」

金沢市では、遺跡をテーマとした市民向けの研究会を開催している。平成27年度に金沢市埋蔵文化財センター内に「金沢縄文ワールド」が開設したこともあり、過去2年は縄文時代をテーマとした研究会を開催している。29年度は遺跡から出土する動物遺体、骨をテーマとした斬新なテーマにて開催した。

講師の覚張隆史氏は、遺跡から出土する動物の骨に関する研究の第一人者で、加賀藩江戸屋敷跡から出土したイヌの骨と、他の遺跡から出土したイヌの骨に含まれるDNAを分析することで、それぞれイヌが食べていた食材が異なることを明らかにし、科学的手法により考古学の分野では突き止めることができなかったことがらを明らかにしている。講演では遺跡から出土する動物骨を分析することでわかる食べ物から、当時の生活環境を明らかにすることについてわかりやすい講演があった。講演終了後には会場内に設けた動物骨の標本展示コーナーで普段余り目にする事のない動物骨の注目すべき事柄などについて丁寧な解説があり、盛んな質疑応答が行われた。今後も積極的にこのような機会を設け、金沢における縄文文化の発信に努めていきたいと考えている。

実施日：平成29年11月11日（土）

午後1時30分～午後3時

講 師：覚張 隆史氏（金沢大学特任助教）

会 場：金沢市埋蔵文化財センター

2階 映像学習室

参加者：40名



覚張 隆史氏の講演

《過去10年の事業実績》

実施年度	タイトル	講師
平成20年度	「水辺に暮らす縄文人」	山本 直人 氏
平成21年度	「加賀八家本多家の歴史」	本多 政光 氏
平成22年度	「玉つくりから見る金沢の古墳時代」	河村 好光 氏
平成23年度	「加賀八家墓所からみる近世の社会」	宇佐美 孝 氏
平成24年度	「縄文の技と美 ～金沢市指定文化財中屋サワ遺跡の出土品特別公開」	岡村 道雄 氏
平成25年度	「もうひとつの前田家墓所 ～天徳院・高岡市前田利長墓所」	廣瀬 勇也 氏 宇佐美 孝 氏
平成26年度	中屋サワ遺跡出土品重要文化財指定記念シンポジウム「石川における縄文晩期の技術」 記念講演「縄文時代の工芸技術」	原田 昌幸 氏
平成27年度	縄文ワールド開設記念講演会「縄文時代の木の文化」	山田 昌久 氏
	国史跡指定シンポジウム「戦国の城と道の実像を探る」 記念講演「加越国境城跡群の歴史的意義」	千田 嘉博 氏
平成28年度	「縄文晩期に北陸地方が繁栄したのは何故か」	泉 拓良 氏
平成29年度	「動物の骨は語る」	覚張 隆史 氏

(5) 史跡活用事業

一般市民に郷土の歴史・文化と埋蔵文化財についての理解を深めてもらい文化財愛護の精神を培うこととして各種イベントを開催している。対象は小学生から中学生およびその保護者を主とし、親子がふれあう機会を提供する場にもなっている。各イベントの実施概要は以下のとおりである。

なお、開催にあたっては石川県史跡整備市町協議会から助成金をうけている。

【史跡フェスタみわ】

国指定史跡東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡の奈良・平安時代の初期荘園の風景を再現した上荒屋史跡公園の地元である三和公民館を会場に奈良・平安時代の生活体験イベントを平成9年度より行っている。

実施日時：平成29年7月22日（土）

午前9時30分～12時30分

主な内容：古代衣装試着体験　古代食試食体験
火起こし体験　勾玉作り　土器作り
土器・パネル展示等

参 加 者：120人

委 託 先：金沢市三和公民館振興協力会



勾玉作り体験（史跡フェスタみわ）

【チカモリ縄文まつり】

国指定史跡チカモリ遺跡の縄文時代の遺構を復元したチカモリ遺跡公園を会場に、縄文時代の生活を体験するイベントを平成7年度より行っている。

実施日時：平成29年8月6日（日）

午前9時30分～午後2時

主な内容：火起こし体験　勾玉作り　土器作り
縄文食試食体験　貫頭衣試着体験

参 加 者：300人

委 託 先：金沢市西南部公民館振興協力会



火起こし体験（チカモリ縄文まつり）

4. 組織

平成 30 年 3 月 31 日現在



平成 29 年度 金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 30 年 4 月 30 日発行

発行 金沢市
編集 金沢市埋蔵文化財センター
〒 920-0374
金沢市上安原南 60 番地
TEL : 076-269-2451
FAX : 076-269-2452
Mail : maibun@city.kanazawa.lg.jp

